

- 問1 1911年に制定され、年少者や女性の労働時間などを制限した法律を何という？
- 問2 明治時代に日本の主要な輸出品となり、アメリカへの輸出で近代化を支えた繊維製品は何？
- 問3 1911年に日米通商航海条約を調印し、関税自主権の完全回復を達成した外務大臣は誰？
- 問4 義務教育の普及により日本国民の間で高まった、文字の読み書きができる能力の割合を何という？
- 問5 鉄鋼業や機械工業などの産業を育成し、国の経済力と軍事力を強化するために明治政府が掲げた目標を何という？
- 問6 1885年の内閣制度発足に伴い、初代内閣総理大臣に任命された人物は誰？
- 問7 第一次世界大戦中に、日本の輸出額が急増し、経済が著しく成長した現象を何という？
- 問8 明治時代、企業による生産活動が拡大し、工場での大量生産が広まった経済の仕組みを何という？
- 問9 中国の孫文が提唱した、民族の独立、民権の伸長、民生の安定を柱とする革命の思想を何という？
- 問10 小村寿太郎が欧米との交渉に成功し、関税自主権を完全に回復した年はいつ？
- 問11 『学問のすゝめ』を著し、個人の自由や独立の精神を説いた明治時代の思想家は誰？
- 問12 明治時代の日本の産業革命において、主に若い女性が過酷な長時間労働を強いられた場所はどこ？
- 問13 大日本帝国憲法に基づき、日本で初めて衆議院議員総選挙が行われたのは何年？
- 問14 足尾銅山鉱毒事件の解決を求め、政府に対して命をかけて訴えた政治家は誰？
- 問15 八幡製鉄所が鉄鉱石の調達先としていた国はどこ？
- 問16 明治時代、中央集権的な政治体制を確立するために1885年に設置された、大臣をまとめて行政を行う組織を何という？
- 問17 大日本帝国憲法において、統治権の主体であり、主権者とされた存在は誰（何か）？
- 問18 富岡製糸場に代表される、繊維工業を中心とした初期の産業分類を何という？
- 問19 日清戦争後の講和条約を何という？
- 問20 1890年に初めて開設された、日本の立法機関となる議会を制定した憲法を何という？
- 問21 板垣退助らが政府に対して批判した、一部の特権層が政治を独占する状態を何という？
- 問22 伊藤博文が大日本帝国憲法の草案を作成する際、参考にされたドイツの憲法を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 工場法	1911年に制定された工場法は、特に労働条件が厳しかった女性や年少者を対象に、深夜業の禁止や労働時間の制限などを定めました。これは、日本における労働者を保護するための初めての法律として画期的な出来事でした。
問2	答え 生糸	製糸工場で生産された生糸は、アメリカなどの欧米諸国で需要が高く、日本の主要な輸出品となりました。この輸出で得られた資金が、工場や軍の整備など、日本の近代化のための莫大な費用を支えました。
問3	答え 小村寿太郎	外務大臣であった小村寿太郎は、諸外国と粘り強く交渉を重ねました。1911年にアメリカなどの各国と新たな通商航海条約を結ぶことで、ついに日本は関税自主権の完全回復を達成しました。
問4	答え 識字率	学制の発布やその後の義務教育制度の普及により、日本全国で小学校教育が展開されました。その結果、全国民が読み書きの能力を身につけるようになり、識字率が劇的に向上しました。高い識字率は、近代技術の習得や新しい思想・文化の吸収を容易にし、日本の急速な近代化を可能にする大きな要因となりました。
問5	答え 富国強兵	富国強兵は、殖産興業と並んで明治政府の最重要スローガンでした。徴兵令による軍備の近代化と、官営工場による重工業の育成が両輪となって進められました。
問6	答え 伊藤博文	伊藤博文は、岩倉使節団の一員として欧米を視察し、帰国後は憲法制定や内閣制度の導入に主導的な役割を果たしました。1885年、新しい内閣制度のトップである「初代内閣総理大臣」に就任し、日本の近代政治体制の枠組みを構築しました。
問7	答え 大戦景気	その穴を埋める形で日本からの輸出が飛躍的に増加し、造船や海運をはじめとする産業が空前の好景気に沸きました。この時期、成金と呼ばれる富裕層が登場するなど、経済構造が大きく変化しました。
問8	答え 資本主義	資本主義は、企業が資本を投下して機械による大量生産を行い、市場で商品売って利潤を追求する経済体制です。鉄道網の整備や銀行の設立がこれを支えました。
問9	答え 三民主義	孫文は、民族の独立（民族）、民主政治の実現（民権）、国民生活の安定（民生）の3つを掲げる「三民主義」を打ち出しました。これは中国の民主化と革命の指針となりました。
問10	答え 1911	1911年、外務大臣であった小村寿太郎は、懸命な外交努力の末に欧米諸国との交渉をまとめ上げました。これにより、日本は自国の関税率を自由に決める権利を完全に取り戻し、長年の悲願であった不平等条約の改正を成し遂げました。
問11	答え 福沢諭吉	慶應義塾の創設者である福沢諭吉は、著書『西洋事情』を通じて、人間の平等や個人の自立の重要性を説きました。西洋の新しい知識や学問を広く伝えることで、日本の近代化に多大な貢献を果たしました。
問12	答え 紡績工場	紡績工場は、綿を糸にするための大型の紡績機械が並ぶ近代的な工場でした。効率を追求するあまり、主に農村から集められた若い女性たちが、非常に低い賃金で1日10時間を超える長時間労働を強いられました。
問13	答え 1890	憲法に基づき、翌1890年に初めての衆議院議員総選挙が実施されました。この選挙は、一定額以上の直接国税を納める満25歳以上の男子にのみ選挙権が与えられた、制限選挙でした。
問14	答え 田中正造	田中正造は栃木県出身の政治家として、被害農民の先頭に立って政府に救済を求めました。国会で何度も質問を行い、最後には天皇に直接訴える「直訴」を試みるほど、この問題の解決に生涯を捧げました。「亡国」という言葉を用いて、国の政策が国民を犠牲にしていると厳しく指摘したことで知られています。
問15	答え 中国	八幡製鉄所は、当時の清（中国）にある大冶鉄山などから鉄鉱石を調達しました。地理的に距離が近く、海上輸送が容易であったため、安定した原料供給体制を整えることができました。これにより、日本の製鉄業は順調に生産量を伸ばすことができました。
問16	答え 内閣制度	内閣制度は、内閣総理大臣と各省の大臣で構成される組織です。伊藤博文が初代内閣総理大臣に任命され、国の行政を統括しました。
問17	答え 天皇	大日本帝国憲法では、天皇を統治権の総攬者と位置づけました。天皇は軍の指揮権を持つ統帥権や、国会を開いたり解散したりする権限など、非常に強い力を持っていました。国民は「臣民」と呼ばれ、あくまで天皇の統治の下で制限付きの権利を認められる存在でした。
問18	答え 軽工業	軽工業とは、重工業に対して比較的小規模な資本や機械で行われる製造業を指します。明治時代初期の日本においては、特に製糸や綿織物といった繊維産業が中心となって輸出を支え、国家の近代化を強力に牽引しました。
問19	答え 下関条約	1895年に山口県下関で、伊藤博文と李鴻章によって調印されました。主な内容は、清が朝鮮の独立を認めること、台湾・遼東半島・澎湖諸島を日本に割譲すること、巨額の賠償金を支払うことなどでした。
問20	答え 大日本帝国憲法	1889年に発布された大日本帝国憲法は、天皇を国家の元首とし、国民の権利は法律の範囲内で認められるものでした。翌年、これに基づき衆議院と貴族院からなる帝国議会が開設されました。
問21	答え 有司専制	板垣退助らは、明治政府が少数の特定勢力によって独占されているとして「有司専制」と呼び批判しました。彼らは、国民の声を政治に反映させるために民選議院（選挙で選ばれた議員による議会）の開設が必要だと主張しました。
問22	答え プロイセン憲法	伊藤博文らは欧米の諸国を調査し、中でも皇帝の権限が強いドイツのプロイセン憲法を高く評価しました。この憲法を参考に、天皇が統治権を総攬し、臣民の権利を法律の範囲内で認めるという内容の「大日本帝国憲法」が1889年に発布されました。